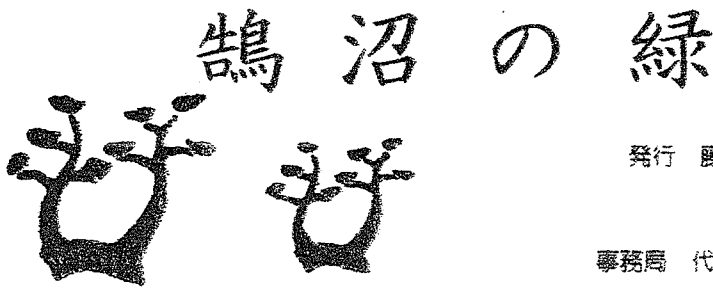


「鶺鴒の緑と景観を守る会」機関紙



7月例会・報告

発行 藤沢市鶺鴒地区「鶺鴒の緑と景観を守る会」

(略称:みどりの会)

事務局 代表 北村裕彦(携帯090-9836-5157)

## 7月例会および学習会報告

7月例会は7月17日(日)15時から鶺鴒公民館で開催され、ひき続き学習会が16時より行われました。出席者16名、司会古山幹事、書記佐藤幹事。恒例の「高木ふれあい荘」の清掃も9時半から行われ、参加者は6名でした。

### 7月例会報告

#### 1 松/木講習会

6月21日(火)鶺鴒松が岡公園で「マツをもっと良く知ろう」という題で講習会がありました。講師は樹木医/環境再生医の富田改さん。出席者は8名、みどりの会から3名が参加しました。一般的な管理方法として①松林は手入れを続ける。②富栄養にならないようにする。③松葉かきは3年に一度くらい行う。また、松の状態の診断は、実は球果の数が少なく、大きければ健全である。葉の根元が白くなると衰弱の進行あり。なお、講習会時の富田さんのレジメを希望される方は北村代表にご連絡下さい。

#### 2 湘南邸宅文化ネットワーク協議会

平成23年度総会が6月26日、蔵まえギャラリーで行われ、北村代表が出席。この協議会の目的は県の南・西部一帯にある歴史的な住宅や別荘を地域固有の文化として次代に継承し、相互に交流を深めようということにあります。このあと「まちの記憶を取り戻す」というテーマで講演会がありました。基調講演は工学院大学教授の後藤治氏。問題提起を神奈川県住宅建築部長・藤健夫氏、逗子の建築家長島孝一氏からも「被災地の歴史的景観をとり戻そう」というお話がありました。

#### 3 湘南ふじさわ歴史文化めぐり

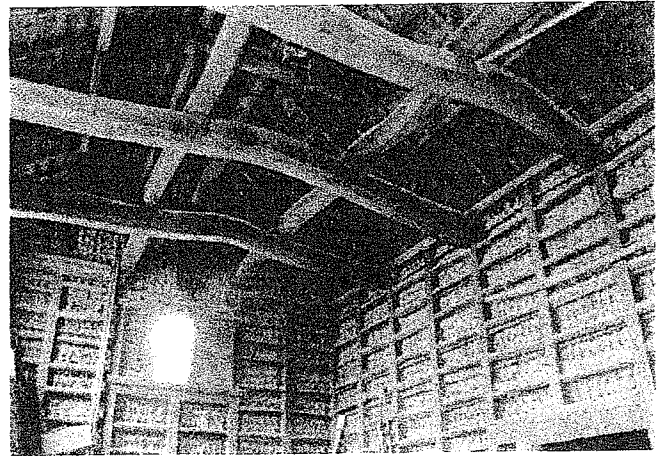
湘南藤沢文化ネットワーク主催の第2回まち歩きが7月2日(土)に行われました。参加者32名。(当会からの参加は11名) 当日は曇り空で絶好の歩き日和になりました。コースは善行東口スタート～グリーンハウス～聖園女学院～白旗神社～藤沢宿へ出て旧商家の蔵二箇所見学～蔵まえギャラリー。北村代表の感想『グリーンハウス(昭和7年竣工)は相当傷みが進んでおり、早急に修理の必要がある。聖園女学院の敷地はあんなに広いとは思わなかった。』

やはり歩いてみないとわからないものです。会員みなさん、健康のためにもこうしたまち歩きに参加して見聞を広めてはいかがでしょうか。次回(第3回)9月8日(木)の予定です。



藤澤カントリー倶楽部のクラブハウスであった

グリーハウス



藤沢本町の商店街に肥料庫として建てられ

今も残る蔵の内部

<まち歩き風景>

#### 4 その他

☆旧モーガン邸で7月8日、園芸講習会「あじさいの挿し芽」が開かれました。講師は当会員で長久保公園みどりの相談員廣田邦夫さん。当日配布された資料は写真入りでとてもわかり易いと好評でした。当日は庭園が公開され、劇団「おむすび」の公演もありました。旧モーガン邸の再建について、日本ナショナルトラストもようやく動き出したようで、あとは寄付金、スポンサー待ちだそうです。

☆鵜南みどり会のまち歩きについて

11月の初めに親子まち歩きを計画しており、案内は当みどりの会にお願いしたいとのことです。

☆斉藤県議（会員）の議会報告6月22日の県議会代表質問の説明がありました。

①太陽光発電について ②リニア駅設置の件 ③津波対策について

### 学習会

6月の学習会で、慶応大学助教 高橋武俊氏より「住民協定にむけて五友会のとりくみの現状」について話を伺いました。今月は実際に五友会の住民協定に向けて活動されている佐藤さんに話をさせていただきます。

#### 「五友会町内会の住民協定に向けた活動」

五友会まちづくり委員 佐藤芳明氏

五友会では「鵜沼の緑豊かな住環境の保全を考える会」として平成20年10月に新旧町内会役員を中心に「まちづくり委員会」を発足させました。その後ボランティア有志（佐藤氏を含む）の方も加わり関根顧問を委員長として、以下のように活動を実施してきました。

#### 活動の概略

- (1) H20・10～H23・7 まちづくり委員会を開催（月1回定例＋臨時会合）し、調査結果の集計と活動の方向づけを行ってきました。
- (2) H21・5～6 第1回「鵜沼の住み心地に関するアンケート」を実施。配布867件、回収637件で回収率73・7%でした。回収にあたっては組長が一軒ずつ回って回収してくれました。この結果、1位：空き巣・通り魔など犯罪被害への不安。2位：自然災害・火災への不安。3位：将来のまち並みへの不安。ということで、これにより行政に（市）にまかせることと、自分たちが

出来ることをはっきり分けて、私たちは、緑の減少や環境破壊の現状に立ち向かうこととしました。

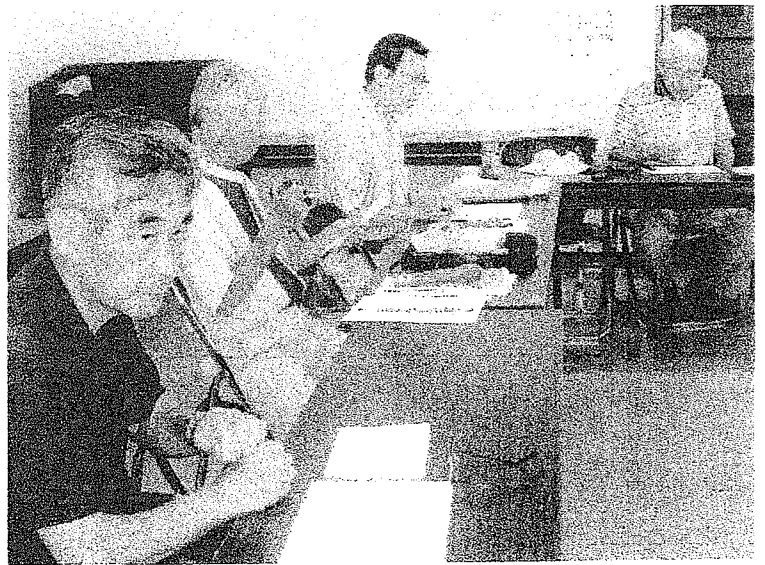
- (3) H22・2 第2回「環境の保全・向上のためのアンケート」を実施。配布は888件、回収482件、回収率54・3%でした。結果、1位：防犯・交通安全。2位：清潔（ゴミや犬猫のフン）。3位：景観と何らかのルールづくり（約7割の方の関心事項でした）。この結果を受けて委員たちは、これならいけると思いました。そして、委員会や役員会（全ブロック長が参加）で討論を重ね、次の2つを決定しました。

○交通・防災・防犯は従来 of 活動の中で推進すると共に、新たに防犯用ビデオモニターを設置する。

○「まちづくりには何らかのルールが必要」との約7割の方々のご意見に対してはニコニコ自治会を参考に「住民協定」に向かって準備する。

という経過をたどりいよいよ「住民協定づくり」に向けてスタートしました。

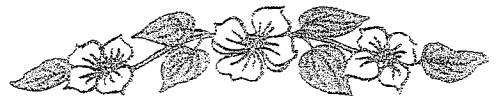
- (4) H23・4の総会（全組長参加）で「住民協定」への取組みを決定し、意見集約のために最終概略案を全戸配布しました。10名の方から「敷地面積は最低でも50坪」というご意見がありましたが、討論の結果、五友会の目安として40坪でよいと取り決め、いよいよ「住民協定」の賛否を問う配布資料の準備に入りました。



以下、最終アンケートの結果や「まちづくり委員会」の活動については、五友会の役員会ので了承を得た上で、10月以降のみどりの会会報でお知らせいたします。



#### みどりの相談コーナー



#### Q デンドロビウムの高芽はどうしたらよいか？

A デンドロビウムの高芽は付けていても大丈夫ですが、根が長く出てきたら切り取り鉢に植え替えましょう。デンドロは品種改良により春から育った新芽がバルブとなりそこに花を付けるものと、昔からの種類は春から育ち出来あがったバルブが年を越し、次の年の秋に花を付けるものがあります。

育てながら習性を観察しましょう

#### Q レモンの木を植えたいがこのあたりで育つものなのか？

A このあたりでも十分育ちます。四季咲き性のため同じ木の中に春実、夏実、秋実と大小の実が見られます。暖地や室内でない限り一般には夏実、秋実は摘果します。

春の花に出来た実を大事にしますが、実が多くなった枝は葉20~30枚に一個の割合になるように摘果します。

(廣田相談員)



声欄

鶴沼の思い出(その2)・・・セラー服の美少女との出会い

先月号の続きです。昭和17年6月、9人の医学進学課程の仲間と江の島へやってきて、片瀬川弁天橋から3艘のボートに分乗して上流に向いました。江の島の鉄橋から引き返す途中、右岸に一人の少女が手を振っていました。仲間のどわめきがあったので振り返ると、美少女は私一人を見つめて他の仲間には構わず涵目を光輝させていた。私は少女の気持を充分には知らずに皆と一緒に3艘のボートに乗って川を下り、途中全員でサヨナラと手を振った。その時、少女の目は未だ私を見ているようで、全身が白く浮き出て、観音像のように思えた。

70年近く過ぎた現在、89歳の老齢でも私の最初で最も懐かしい思い出となっている。

現在、その公園から歩いて5、6分の所に、昔夢想した家柄狭いけれど鉄骨2階建の住宅に、老妻と4人の若世帯とで鶴沼の平和な自然と、友人達の暖かな支えに囲まれて大過なく暮せることに感謝しています。

(S.Y松が岡在住)

8月および9月の日程お知らせ

8月の例会および

高木ふれあい荘と

〇邸の清掃はお休みです

編集会議	8月10日(水)15:00~
広報印刷	8月12日(金)15:00~
幹事会	8月27日(土)10:00~
9月例会	9月18日(土)15:00~
高木ふれあい荘清掃	" 9:30~
9月幹事会	9月24日(土)10:00~
9月の〇邸清掃は未定です	

会費納入のお願い

会費は1,000円です(年間)。

北村代表宅(〒251-0031 鶴沼藤が谷3-1-27)

に送金またはお近くの幹事にお渡し下さい

◇ 編集係より ◇

先日、鶴沼公民館であるボランティアサークルの例会がありました。その時、岩手県の被災地に行ってきたという会員の一人が被災地の流木で作ったうちわを全員に配りました。そのうちわを皆んなで扇ぎながら会は進行しました。木の香が部屋中に漂いました。

今朝の新聞(8/9)に京都五山の送り火で燃やす予定だった被災地の流木の松に放射能汚染の恐れがあるということで中止になった、という記事がありました。

8月8日、陸前高田で京都五山で燃やす予定だった被災者のメッセージ入り鎮魂の薪が燃やされたということです。(佐)